

日 時 平成 26 年 3 月 14 日 (金) 19:00~20:30

場 所 文部科学省情報ひろばラウンジ (旧庁舎 1 階) 〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

主 催 日本学術会議、文部科学省

テーマ：学際領域としての「食」研究の面白さ・難しさ
：日本人の長寿を支える「健康な食事」の検討を例に

講 師：武見ゆかりさん

日本学術会議連携会員、女子栄養大学・大学院食生態学研究室教授

ファシリテーター：生源寺真一さん

日本学術会議会員、名古屋大学大学院生命農学研究科教授

世界最長寿国の1つである日本の長寿を支える要因として、「食」の果たす役割は大きい。「食」の研究は、医学、栄養学、食品科学、調理科学、食料経済学、食文化学、民族学など、自然科学、社会科学、人文科学のさまざまな分野で取り組まれている。分野によって研究の方法論も異なれば、「食」の重要性や価値に関する解釈も異なる。各分野によって違うからこそその面白さと、相容れない難しさをもつ「食」の研究は、和食がユネスコの無形文化遺産に登録される中、国際的にもますます注目されるであろう。日本の「食」研究の課題と今後の展望について、現在、厚生労働省で進められている「健康な食事」の検討会の議論を例に、話題提供し、参加者の皆さまと議論を深める場にしたいと考える。

【参加方法】

事前申し込みでの受付となります。「氏名」及び「3月14日サイエンスカフェ参加希望」と書いたEメールを、stw@mext.go.jp (@は小文字) あてにお送り下さい

【参加費】 無料 【定員】 30 名

【アクセス】

銀座線「虎ノ門駅」11 番出口 直結

千代田線「霞ヶ関駅」A13 番出口 徒歩 5 分

